

○ 建学の精神を実現するための基盤となる能力

DP1-1 作業療法の対象となる人々の生活を支えるため、幅広い教養と広い視野を持ち、科学的に思考し、自らの考えを適切に表現できる能力を身につけている。【教養・理解】

DP1-2 作業療法の対象となる人々の人権・人格・個性を尊重し、個人の価値観や文化的背景を理解し、適切な関係を築くことができる能力を身につけている。【コミュニケーション力】

DP1-3 私たちが暮らす社会の保健・医療・福祉の改善を志向し、作業療法士として主体的に行動する能力を身につけている。【志向性・主体性】

○ 保健・医療・福祉の実践を担う専門職、専門分野の発展に寄与する能力

DP2-1 作業療法実践に必要な基盤知識と臨床技術を修得するとともに、対象者の抱える課題を解決するために論理的に思考できる能力を身につけている。【知識・技能】

DP2-2 作業療法の対象者や協働する様々な職種の人々と良好な対人関係を築き、地域医療も含む様々な領域で円滑に支援を行う能力を身につけている。【多職種連携力・地域医療】

DP2-3 倫理感を持って専門職としての役割と責任を認識し、臨床場面や災害時の支援など様々な場面で豊かな発想と科学的思考によって解決策を構想する能力を身につけている。【倫理・問題解決力】

DP2-4 学修者として、また専門職である作業療法士としての資質を、自らのキャリアプランに沿って向上させ、社会のおよび職業的自立を図るうえで必要な能力を身につけている。【キャリア形成・生涯学習】

◎：主な関連科目、○：関連科目

区分	科目	配置年次				ディプロマポリシー（新DP）							
		1年次	2年次	3年次	4年次	DP1-1	DP1-2	DP1-3	DP2-1	DP2-2	DP2-3	DP2-4	
専門科目	基礎作業療法学	作業療法概論								◎		○	
		基礎作業学1								◎			○
		基礎作業学2								◎			○
		作業理論と評価								○		◎	
		作業療法研究法セミナー1										◎	○
		作業療法研究法セミナー2										◎	○
	作業療法管理学										◎	○	
	作業療法評価学	作業療法評価学1								◎		○	
		作業療法評価学2								◎		○	
		作業療法臨床実践法（オスキー）1								◎		○	
		作業療法臨床実践法（オスキー）2								○		◎	
	作業療法治療学	日常生活適応学								◎		○	
		身体障害作業療法学										◎	○
		身体障害作業療法治療学										◎	○
		精神障害作業療法学										◎	○
		精神障害作業療法治療学										◎	○
		発達障害作業療法学										◎	○
		発達障害作業療法治療学										◎	○
		高齢期作業療法学										◎	○
		高齢期作業療法治療学										◎	○
作業療法治療学総論											○	◎	
作業療法学研究										◎	○		
地域作業療法学	地域作業療法学										◎	○	
	地域作業療法演習										◎	○	
	職業リハビリテーション学								◎	○			
統合学習	チーム連携と地域ケアシステム	保健医療総論1						○		◎			
		北海道の生活と健康					◎		○				
		地域医療合同セミナー1							○		◎		
		保健医療総論2						○		◎			
		地域医療合同セミナー2							○		◎		
		保健医療総論3								◎	○		
		地域医療合同セミナー3							○		◎		
		保健医療総論4								◎	○		
	地域医療合同セミナー4							○		◎			
	その他	自主課題実践							◎				○
キャリアデザイン								○				◎	
臨床実習	臨床実習	臨床実習1						○		◎	○		
		臨床実習2							◎	○	○		
		臨床実習3							◎	○	○		
		総合臨床実習1							◎	○	○	○	
		総合臨床実習2							◎	○	○	○	
		総合臨床実習3							◎	○	○	○	
		臨床実習4							◎	○	○	○	